

## 統計調査の民間開放の検討・評価に関する懇談会（第5回）議事概要

1 日時 平成20年3月4日（火）10時05分から11時40分

2 場所 総務省統計局 6階特別会議室

3 出席者

構成員：吉澤正座長、今泉典彦委員、大橋豊彦委員、高橋伸子委員、土屋隆裕委員、  
舟岡史雄委員

総務省：川崎茂統計局長、下河内司統計調査部長、飯島信也総務課長、  
杉山茂調査企画課長、清水誠経済統計課長

4 議題

- (1) 科学技術研究調査の民間開放の実施状況について
- (2) 平成19年就業構造基本調査の民間開放の実施状況について
- (3) 所管統計調査に係る民間開放の取組状況について
- (4) その他

5 配布資料

- (1) 科学技術研究調査 民間開放の実施状況について（案）
- (2) 平成19年就業構造基本調査の民間開放の実施状況について（概要）

6 議事の概要

(1) 事務局から資料1に基づき科学技術研究調査の民間開放の実施状況について説明が行われ、その後意見交換が行われた。各委員からの主な意見等は以下のとおり。

今回の実施結果については、未記入・誤記入の具体的状況及び記入不備があった調査客体に対するモニタリングについて、より詳細な分析をすることが望ましい。それらを通じて民間開放の在り方や回収率向上のための方策を検討することも有益であろう。

ハガキによる督促を5回行ったことが回収率向上にどの程度寄与したのか検証が必要（督促の回数かそれとも督促のタイミングか）。これは、入札の際の評価項目の設定にも関わるもの。

受託事業者が無理なく督促業務を遂行する上でも、目標とする回収率を節目ごとに設定することも考えられるのではないか。

受託事業者における実施経費が契約額を超過していることについては、事業者の側における業務の習熟や経験の蓄積によるコストの低減を期待する。

(2) 事務局から資料2に基づき就業構造基本調査の民間開放の実施状況について説明が行われ、その後意見交換が行われた。各委員からの主な意見等は以下のとおり。

越前市における調査票の検査・審査の方法や調査票の記入状況、対象世帯の反応などは、今後に向けて参考にすべき。登録調査員で今回受託事業者に協力した人たちがどのような印象を抱いたかということも有意義な情報。

科学技術研究調査同様、受託事業者における実施経費が契約額を超過していることについては、民間事業者が競争して効率的にサービスを提供するという趣旨から考えると健全な姿とは言えないのではないかと思う。

- (3) 事務局から所管統計調査に係る民間開放の取組状況について報告がなされ、その後意見交換が行われた。各委員からの主な意見等は以下のとおり。

地方公共団体の側からは質の確保に対する懸念が示されているが、今回の就業構造基本調査の実施結果を適切に伝え、そのような懸念の払拭に努めるべきではないか。

<文責：総務省統計局（速報のため、今後、修正の可能性あり）>

以上